

令和 7 年 2 月 27 日
原子力安全対策課
(0 6 - 5 9)
<18 時記者発表>

大飯発電所 3 号機排気筒ガスモニタの 一時的な指示値の上昇について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所 3 号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力 118.0 万 kW）は、定格熱出力一定運転中の令和 7 年 2 月 27 日 12 時 53 分から 13 時 12 分にかけて、排気筒ガスモニタ※¹の指示値がわずかに上昇（最大値約 1,191cpm、通常値約 480cpm）していることが確認された。

本日の現場作業を確認したところ、3、4 号機廃棄物処理建屋ではサンプリングラック※²取替工事が行われていたことや、4 号機では体積制御タンク※³のガスサンプリングが実施されていたことから、これらの作業との関連性を調査する。

3 号機排気筒から放出された放射性気体廃棄物の量を評価した結果、約 1.6×10^9 ベクレルと評価されたが、この放出放射エネルギーは、保安規定に基づく大飯発電所の希ガスの放出管理目標値（ 1.0×10^{15} ベクレル／年）に比べ十分低く、周辺環境等への影響はなかった。

また、大飯発電所周辺に設置している環境放射線監視用モニタリングポストの指示値にも有意な変化は認められなかった。

その他のプラントパラメータやプラントの運転状況に異常はない。

※1：運転に伴って発生する放射性気体廃棄物を監視するモニタ。大飯 3 号機の原子炉周辺建屋及び、廃棄物処理建屋からの排気を監視している。

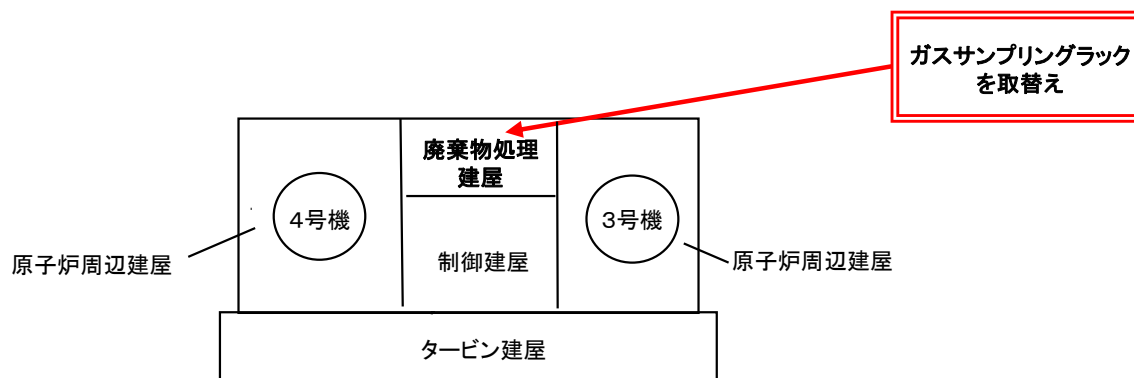
※2：放射性気体廃棄物を排気筒から放出する前に、濃度確認のための試料を採取する装置

※3：化学体積制御系の設備で、原子炉容器や配管内の一次冷却材の量を調整するためのタンク。

問い合わせ先（担当：山本、内園） 内線 2352・直通 0776(20)0314

大飯発電所3号機の排気筒ガスモニタの一時的な指示値の上昇

事象概要



本日12時53分から13時12分にかけて最大1,191cpm(通常値 約480cpm)

警報設定値

プロセスモニタ計数率 注意 4,000cpm

プロセスモニタ計数率 高 10,000cpm

